

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道375号 福富豊栄バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	広島県	
起終点	自：広島県東広島市福富町上戸野 至：広島県東広島市豊栄町清武				延長	9.5 km	
事業概要	<p>一般国道375号は、広島県呉市を起点として、広島県三次市を経て島根県太田市に至る延長約17.4kmの幹線道路である。</p> <p>福富豊栄バイパスは、線形不良解消及び交通安全確保を目的とした、延長9.5kmの2車線道路である。</p>						
H3年度事業化	都市計画決定なし		H7年度用地着手	H7年度工事着手			
全体事業費	84億円		事業進捗率	45.2%		供用済延長	0.7km
計画交通量	2,100～6,900台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 5.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 42/90億円 (事業費：35/82億円 維持管理費：8/8億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 230/230億円 (走行時間短縮便益：197/197億円 走行費用減少便益：26/26億円 交通事故減少便益：6/6億円)	基準年 平成17年			
感度分析の結果	<p>残事業（事業全体）について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=2.8（交通量+10%） B/C=2.3（交通量-10%）</p> <p>事業費変動：B/C=2.4（事業費+10%） B/C=2.7（事業費-10%）</p>						
事業の効果等	<p>日常生活都市圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる（合併した東広島市と豊栄町のアクセス向上）</p> <p>新規整備の公共公益施設へ直結する道路（福富支所） 他8項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	<p>県北部地域と中央地域を結ぶ生活道路として、また高速交通ネットワークへのアクセス道路としてきわめて重要な役割を担う路線である。豊栄地区において、家屋連担区域があり幅員が狭小で歩道も未整備であることから、歩行者等の安全性や緊急時の対応に支障を来し、市民生活に深刻な影響を及ぼしていることから早期整備を求められている。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>福富工区のバイパスルートは福富ダム周辺整備の一環として、東広島市福富支所、福祉保健センター等を結ぶ路線である。また、地域高規格道路東広島高田道路と連携して広域ネットワークを形成する。</p>						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>福富工区においては、福富ダム完成に併せ全線供用開始を目指し、豊栄工区においては、バイパス区間の計画に関して豊栄地区の活性化につながる計画を地元と検討していく。</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>福富工区においては、福富ダム建設事業と進度調整を行ってきたことにより用地買収、工事着手が遅れた。豊栄工区においてはバイパス区間の計画に関して、地元との検討に時間を要しており、引き続き、早期工事着手を目指すこととしている。</p>						
施設の構造や工法の変更等	<p>福富工区においては、ダム関連工区でダム再建地計画や周辺環境整備等に整合したルートにしている。豊栄工区においては、家屋連担部及びほ場整備区域を避けたルート選定としているが、豊栄地区の活性化につながる計画を地元と検討中である。</p>						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図	<p>一般国道375号 福富豊栄バイパス L=9.5km</p> <p>福富工区 L=2.9km 区域外 豊栄工区 L=6.6km</p> <p>起点 東広島市福富町上戸野 終点 東広島市豊栄町清武</p> <p>供用済 L=0.2km (2/2)</p> <p>1号橋梁 L=2.5km</p> <p>生活再建地</p> <p>下竹仁久芳線</p> <p>乃美トンネル L=500m</p> <p>吉倉豊栄線</p> <p>凡例</p> <p>■ 供用中</p> <p>■ ■ ■ ■ 事業中</p>						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。